

テーマ 十五夜

主な花材



ススキ

(大阪府産)

秋の七草のひとつに数えられる、「オバナ」や「カヤ」とも呼ばれる山野草です。中秋の名月の飾りとしても欠かせない、日本の秋を象徴する植物です。

花言葉：活力、生命力、心が通じる



藤袴

(長野県産)

名前の由来は、藤色の花卉の形が袴に似ていることからといわれています。秋の七草の一つです。

花言葉：あの日を思い出す、ためらい、優しい思い出



ワレモコウ

(群馬県産)

名前の由来は、「われ(吾)も(亦)こう(紅)ありたい」という言葉にちなんでいるなど諸説あります。

花言葉：変化、移りゆく日々、物思い



アゲラタム

(長野県産)

名前の由来は、初夏から秋まで色あせること無く次々花を咲かせることから、ギリシャ語の「ageratos (不老)」に由来します。

花言葉：信頼、安楽、幸せを得る



ケイトウ

(佐賀県産)

名前の由来は、鶏のとさかのような形をした真っ赤な花を咲かせることからといわれています。

花言葉：おしゃれ、気取り、風変わり

